

The Power of Images

The National Museum of Ethnology Collection



樹皮画《マイ・カントリー》 作者：ジョニー・ブルンブルン 民族：アボリジニ 国名：オーストラリア 1982年制作 国立民族学博物館蔵 写真提供：国立民族学博物館

迫りくる力、驚きとの出会い、
このアートを体感しよう

イメージの力 —— 国立民族学博物館コレクションにさぐる

国立民族学博物館創設40周年記念
日本文化人類学会50周年記念

2014年2月19日|水|—6月9日|月| 毎週火曜日休館 ただし、4月29日(火)および5月6日(火)は開館、5月7日(水)は休館
国立新美術館 企画展示室2E [東京・六本木]

主催：国立新美術館、国立民族学博物館 共催：日本文化人類学会
開館時間：午前10時—午後6時 金曜日は午後8時まで
4月19日(土)は午後10時まで開館(入場は閉館の30分前まで)

新 国立新美術館
THE NATIONAL ART CENTER, TOKYO

The Power of Images

The National Museum
of Ethnology Collection

企画概要

人類の歴史は、イメージの歴史でした。イメージは文字に先行し、さらには言葉の源になったと考えられます。世界の本質や構造にかたちや色を与えて視覚化することは、人間に与えられた根源的な資質のひとつなのです。

イメージの創造とその享受のあり方に、人類共通の普遍性はあるのでしょうか。この壮大な問いをテーマに掲げた本展覧会では、世界のさまざまな地域で生み出された造形物を紹介します。展示されるのは、世界各地の資料を擁する国立民族学博物館の膨大なコレクションから選りすぐられた逸品です。同博物館と国立新美術館との共同企画である本展覧会は、イメージを地域や時代ごとに分類するのではなく、共通した造形性や効果、機能に着目して提示します。これは、造形物に対して私たちが持っている固定観念を問い直す試みでもあります。

国立新美術館の広大な展示室には、博物館でお馴染みの仮面や神像から、今活躍中の美術家の作品までが、美術館と博物館の垣根を超えて一堂に会します。儀礼に供されてきたイメージの圧倒的な生命力、文化交流から生まれたハイブリッドな造形の奥深さ、グローバル化した現代社会とともにあるイメージの活力を体感することによって、人類の文化に普遍的な「イメージの力」をご堪能ください。

展覧会のみどころ

1. 美術館と博物館のコラボレーション

2007年に開館した国立新美術館は、近現代美術を中心にした展覧会の開催に努めてきました。一方、2014年に創設40周年を迎える国立民族学博物館は、世界各地の造形物や生活用具など、約34万点を所蔵する世界最大級の民族学博物館です。まったく異なった2つの機関が共同で企画した本展覧会は、博物館の収蔵品がもっているアートとしての側面に着目し、これを美術館の展示室で展示しようという斬新な試みです。

2. イメージの根源を問う

国立新美術館は、人間が生み出した素晴らしい視覚芸術に対して、新たな見方を提示する展覧会の開催を目指しています。本展覧会は、世界のさまざまな地域とさまざまな時代を射程に入れて、人間とイメージとのダイナミックな関係に迫るものです。有史以前から人間は、色とかたちを駆使してイメージを生み出し、そこから新たな活力を得てきました。本展覧会は、そうしたイメージの力を壮大な規模で問いかけます。

3. 国立民族学博物館のコレクションを大規模に紹介

本展覧会では、大阪の国立民族学博物館のコレクションから、約600点にも及ぶ収蔵品を展示します。国立民族学博物館は、大学共同利用機関として文化人類学の研究を進める一方、世界の諸民族が生み出した造形物や生活用具を収集・公開してきました。関西で「みんぱく」として親しまれている同館のコレクションをこれほどの規模で紹介するのは、東京では今回が初めてです。本展覧会では、天井高8メートルにも及ぶ大きな展示室で、圧倒的な質と量を誇るみんぱくコレクションから選ばれた逸品の数々をご紹介します。

The Power of Images

The National Museum of Ethnology Collection

各章の内容について



プロローグ—視線のありか

人間は、イメージを創造するとともに、自らが生み出したイメージから力を得て生きてきました。イメージの創造とその享受という、人間とイメージとのダイナミックな関係を問いかける本展覧会のプロローグでは、世界各地から集められた仮面で壁一面を覆いつくします。私たちは、強烈な眼力をもった色とりどりの仮面に四方から取り囲まれることにより、イメージに見られるという新鮮な感覚を覚えることになるでしょう。仮面の圧倒的な眼差しに晒されることで、私たちに迫り来るものとしてのイメージを体感することができます。

第1章 みえないもののイメージ

1-1: 人をかたどる、神がみをかたどる

世界には、眼に見えないものを視覚化した造形物が数多く存在します。人間は、眼に見えないものにイメージを与え、それと関わることで、見えないものの力をコントロールしようとしてきたのです。神がみや精霊のイメージは、こうした人間の意思が込められた代表的な例でしょう。人びとは、自らの身体に似せて神がみのイメージを視覚化し、生きるための縁としてきました。このセクションでは、人間が生み出した大いなる力のイメージに圧倒されることでしょう。



1-2: 時間をかたどる

地域や民族、宗教に固有の物語も、神がみや精霊同様に、眼に見えない領域に属しています。人びとは、生活を営む上で大きな意味を担っていた物語を、視覚的なイメージに留めようと努めてきました。それによって、物語は後世に伝えられていったのです。このセクションでは、仏陀の生涯を描いた仏伝図や曼荼羅、あるいはアボリジニの樹皮画など時間や物語をイメージに定着させる試みを世界各地に探ります。



第2章 イメージの力学

2-1: 光の力、色の力

光や色は、私たちの眼を引きつける強烈な力をもっています。たとえば鳥の羽による頭飾りや色とりどりのビーズで覆われた装身具が放つ光や色は、聖なるものとのつながりの表現として、あるいは、力や富の象徴として用いられてきました。また、邪悪なものを跳ね返すために、衣服や日用品に鏡や金属を貼り付ける行為は、世界各地で確認されています。このセクションでは、光や色が与える視覚的効果に人びとが見出そうとしてきたものを検証します。



2-2: 高みとつながる

イメージには、私たちの視線をある一定の方向へ導く働きもあります。墓標など高さを強調した造形物は、高みの世界、すなわち、他界へと繋がる回路を想起させます。死者の霊を地上から他界へと送りだしたり、神がみが地上に降り立ったりする道筋としてのイメージは、さまざまな地域と文化に普遍的に確認することができます。世界各地で集められた墓標や木彫などが林立する空間は、はるか上方の世界と、今ここに立つ私たちとのつながりを喚起することでしょう。

The Power of Images

The National Museum of Ethnology Collection



第3章 イメージとたわむれる

人間は、ある特定の目的のためにかたちを作り出すだけでなく、イメージを生み出し、それを享受することに喜びを感じてきました。コンゴ民主共和国の民族クバの人びとの女性用前掛け布には、多様なアププリケが施されています。この前掛け布には、穴をふさぐというアププリケの実利的な目的を超えて、作り手の創意工夫の跡がはっきりと示されています。このセクションでは、クバの女性用前掛け布からイースターエッグまで、作り手がイメージを生み出すことに喜びや楽しみを見出していることがうかがえる世界各地の作例を取り上げます。

第4章 イメージの翻訳

4-1: ハイブリッドな造形

人の移動や交流によって、かつて出会うことのなかったもの同士が交わり、新たなイメージが生みだされるということは、世界各地で確認されます。たとえば、英国国旗のイメージを「強さ」の象徴と解釈したガーナの民族ファンティの人びとは、それを自らの軍旗に取り入れています。本セクションでは、文化の交流の結果生み出されるハイブリッド(異種混合的)な造形に着眼し、外の世界のイメージを取り込むことで、新たな表現が生み出されていく様相を確認します。



4-2: 消費されるイメージ

イメージは、通信や物流、生活様式の変化と深く関わっています。今日、消費の対象としてのイメージは、世界を均一に覆う勢いで拡散しています。セネガルやベトナムで観光客用のお土産として売られているブリキやアルミニウムの缶を利用した玩具は、世界中で商標が知られた飲み物の空き缶を用いて制作されています。これは、大量消費社会を背景としたポップアートを想起させます。このセクションでは、イメージが、めまぐるしく動くグローバル社会の中で消費されつつ、新たな姿と機能を獲得していくさまに迫ります。



エピローグ—見出されたイメージ

人間が作り出したイメージは、必ずしも、地域や文化を超えて、同じように受け止められ、解釈されるわけではありません。それは、誤解され転用されるだけでなく、時には、まったく新たな意味や価値を与えられ、その存在を大きく変えられることもあります。このセクションでは、あらゆるものを「作品」として機能させる美術館という場を利用して、博物館に収められた梯子やザルといった実用的な資料を、現代美術のインスタレーションの手法で展示します。それは、イメージの受容がきわめて主観的な行為であることを示すと同時に、イメージというものが常に新たな文脈に対して開かれていることに気づかせてくれるでしょう。展覧会のエピローグとしての本セクションは、美術館という場の機能と意味を問いかけ、イメージと私たちの関係をもう一度見つめなおします。

The Power of Images

The National Museum of Ethnology Collection

開催概要

イメージの力——国立民族学博物館コレクションにさぐる

The Power of Images: The National Museum of Ethnology Collection

会期: 2014年2月19日|水|–6月9日|月|

毎週火曜日休館 ただし、4月29日|火|および5月6日|火|は開館、5月7日|水|は休館

会場: 国立新美術館 企画展示室 2E [東京・六本木]

主催: 国立新美術館、国立民族学博物館

共催: 日本文化人類学会

開館時間: 午前10時–午後6時 金曜日は午後8時まで

4月19日(土)は午後10時まで開館(入場は閉館の30分前まで)

観覧料(税込):

当日: 一般 1,000円/大学生 500円

前売: 一般 800円/大学生 300円

団体: 一般 800円/大学生 300円

*2014年4月19日(土)は「六本木アートナイト 2014」、5月18日(日)は「国際博物館の日」につき、入場無料

*高校生、18歳未満の方(学生証または年齢のわかるものが必要)および障害者手帳をご持参の方(付添の方1名を含む)は入場無料

*前売券および当日券は、チケットぴあ(Pコード: 765-886)および、ローソンチケット(Lコード: 35715)でも取り扱っています(手数料がかかる場合があります)

*前売券は2013年11月9日(土)から2014年2月18日(火)まで販売 [国立新美術館では2013年12月11日(水)から2014年2月17日(月)まで]

*団体券は国立新美術館のみで販売(20名以上に適用)

*会期中に当館で開催中の他の企画展および公募展のチケット、またはサントリー美術館、森美術館(ATRO)で開催中の展覧会チケット(半券可)を提示された方は、団体料金が適用されます。

*65歳以上の方(年齢のわかるものが必要)は、会期中に当館で開催中の公募展チケット(半券可)の提示で大学生団体料金が適用されます。

アクセス

東京メトロ千代田線 乃木坂駅 青山霊園方面改札6出口(美術館直結)

東京メトロ日比谷線 六本木駅 4a出口から徒歩約5分

都営地下鉄大江戸線 六本木駅 7出口から徒歩約4分

国立新美術館

〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2

お問い合わせ: 03-5777-8600(ハローダイヤル)

ホームページ: <http://www.nact.jp/>

展覧会Facebook: <http://www.facebook.com/the.power.of.images>

関連イベント

詳細が決まり次第ご案内します。最新情報については、当館ホームページ、または、展覧会Facebookをご覧ください。

同時開催の展覧会

中村一美展 2014年3月19日(水)–5月19日(月)

*本展覧会は、2014年9月11日(木)から11月25日(火)(予定)まで、国立民族学博物館でも開催。



The Power of Images

The National Museum of Ethnology Collection

イメージの力——国立民族学博物館コレクションにさぐる The Power of Images: The National Museum of Ethnology Collection 広報用画像データ一覧

展覧会広報用として画像をご用意しております。
ご希望の場合は別紙の申込書に必要事項をご記入の上、ファックスにてお申し込みください。
(メールで直接お申し込みいただくことも可能です。)
* プレスリリース内で使用している記録写真の無断使用はお断りします。

番号	画像	和文記載およびクレジット	番号	画像	和文記載およびクレジット
1		神像付きの椅子 民族: イアトムル 国名: パプアニューギニア 1988年収集 国立民族学博物館蔵 写真提供: 国立民族学博物館	6		羽毛製頭飾り 民族: ツカハマイ 国名: ブラジル 1960年代制作 国立民族学博物館蔵 写真提供: 国立民族学博物館
2		舞踏劇「チャム」の仮面「シンギェ」 地域: ティンブー 国名: ブータン 20世紀後半制作 国立民族学博物館蔵 写真提供: 国立民族学博物館	7		ゾウの仮面「ムバップ・ムテン」 民族: バミレケ 国名: カメルーン 1996年収集 国立民族学博物館蔵 写真提供: 国立民族学博物館
3		「トコベイ」人形 地域: トビ島 国名: パラオ共和国 1940年頃収集 国立民族学博物館蔵 写真提供: 国立民族学博物館	8		女性用前掛け布 民族: クバ 国名: コンゴ民主共和国 1983年収集 国立民族学博物館蔵 写真提供: 国立民族学博物館
4		早変わり仮面 作者: リチャード・ハント 民族: クワクワカワクワ 国名: カナダ 1977年制作 国立民族学博物館蔵 写真提供: 国立民族学博物館	9		アサフォ結社の旗 民族: ファンティ 国名: ガーナ 1940年頃制作 国立民族学博物館蔵 写真提供: 国立民族学博物館
5		樹皮画《マイ・カントリー》 作者: ジョニー・ブルンブルン 民族: アボリジニ 国名: オーストラリア 1982年制作 国立民族学博物館蔵 写真提供: 国立民族学博物館	10		ブリキのおもちゃ(複葉機) 地域: ホーチミン市 国名: ベトナム 2000年収集 国立民族学博物館蔵 写真提供: 国立民族学博物館

The Power of Images

The National Museum
of Ethnology Collection

イメージの力——国立民族学博物館コレクションにさぐる
The Power of Images: The National Museum of Ethnology Collection
広報用画像データ・プレゼント用招待券申込書

国立新美術館 広報担当 行
FAX: 03-3405-2532 E-mail: pr@nact.jp

画像データ申込み(ご希望のデータの番号にチェックをつけてください)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

貴社名:

媒体名:

掲載/放送予定日: 月 日 発売/放送 (月号)

ご担当者名:

TEL:

FAX:

E-mail:

画像到着希望日: 月 日 時ごろまでに送付

プレゼント用招待券申込み(ご希望の場合はチェックをつけてください)

10組20枚を希望します。

*発送は12月下旬を予定しております。

*チケット発送先となるご住所をご記入ください。

〒

◎写真ご使用に際してのお願い

*作品写真の使用目的は、本展のご紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。

*写真掲載にあたっては、[記載クレジット]全文を表記してください。

*トリミングおよび文字のせはできませんのでご了承ください。

*基本情報確認のためゲラ刷り・原稿の段階で下記の広報担当までファックスまたはE-mailにてお送りください。

*掲載紙・誌等を必ず広報担当までご送付いただきますようお願い致します。

またお手数ですが、招待券プレゼントの受付・発送などは貴編集部にてお願い致します。

報道関係のお問い合わせ:

国立新美術館 広報担当 石松、桐生、菊池

Tel: 03-6812-9925 Fax: 03-3405-2532 E-mail: pr@nact.jp